

◆◆ 会議録(要旨)◆◆

| | | | |
|--|---|-------|------|
| 会議テーマ | 令和2年度 第1回阿南市総合計画審議会 | | |
| 開催年月日 | 令和2年5月28日(木) | 資料の有無 | 無(有) |
| 会場 | 阿南市役所6階 602・603・604会議室 | | |
| 出席者 | <p>【委員】</p> <p>甘利委員、岩佐委員、小笠原委員、兼松委員、清原委員、紅露委員、佐竹委員、炭谷委員、長久委員、富永委員、丹生川委員、野村委員、原委員、原田委員、平山委員、増田委員、青木委員、片山委員、永田委員、西野委員、濱田委員、藤井委員、和田委員、西岡委員 計24人 ※山本委員は欠席</p> <p>【市(事務局=企画政策課)】</p> <p>表原市長、松内企画部長、岡田企画政策課長、山田課長補佐、岸本課長補佐、新居係長、湯浅事務主任 計7人</p> <p>【オブザーバー】</p> <p>(株)ぎょうせい四国支社(石丸担当課長、成田主任研究員、井澤研究員)</p> | | |
| 傍聴者 | 2人 | | |
| 内 容 | | | |
| <p>【次第】</p> <p>1 開会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委嘱状交付 ・委員紹介 ・市長あいさつ ・会長選任、職務代理者指名 <p>2 諮問</p> <p>3 総合計画の概要及び阿南市総合計画審議会の役割について</p> <p>4 議事</p> <ul style="list-style-type: none"> (1)計画の策定スケジュールについて (2)基礎調査結果について (3)基本構想の骨子案について <p>5 閉会</p> | | | |

14:00 開会

1 開会

- ・委嘱状交付
- ・委員紹介
- ・市長あいさつ(要旨)

御多用の中、お集まりいただき厚くお礼申し上げます。いよいよ、この日を迎えることとなった。阿南市の未来を描いていく7人の公募をいただき、高い関心を持って、この場にいることと思い、感謝をする。

令和の時代がスタートし、1年余りとなった。本来は、東京オリンピック・パラリンピックに向け世界から注目を集める“熱い夏”になる予定であった。しかし、市長に就任して半年を迎えるにあたり、コロナウイルス感染拡大による危機を迎えるとは思ってもせず、マスクを手放せない違った意味での暑い夏を迎えることとなった。全国に発令された緊急事態宣言はようやく解除され、経済活動が再開されたものの、先行きの不透明感はぬぐえない状況にある。この危機を乗り越え、コロナ時代の新たな日常を取り戻すため、本市では特別定額給付金の交付をはじめ、約1億7千万円の対策予算案を編成した。

私たちは、コロナ渦で東京一極集中のハイリスクを経験することとなった。一方、世界に目を向けると持続可能な開発目標、SDGsが共通目標となり、気候問題についてはこれから10年が人類と地球の未来を決めるといわれ、行動の変革が望まれる。

本市においても、人口減少、少子高齢化、南海トラフの発生を背景として、これからのまちづくりに重要なキーワードとなるのがサステナビリティ(持続可能性)でないかと考える。

阿南市の総合計画の審議会の皆様には、阿南市の歩みを踏まえつつ、次期総合計画の目標が終了する2028年度に向け、阿南市がどのようにまちづくりを進めていくか、事務局が示す計画案をもとに、ご審議を賜りたい。

本日の会議では、コロナウイルス感染予防の観点から、机の間隔を空け通常とは異なる配置となっている。また、マスクの着用もお願いしている。感染対策に協力いただき、お礼を申し上げます。今日の会議が未来の贈り物となることをお祈りしている。

- ・会長選任、職務代理者指名

委員より「事務局一任」との声があり、事務局案により平山委員が会長が選任される。

職務代理者は、平山会長より山本委員が指名された。(山本委員は欠席のため、後日指名)

2 諮問

表原市長が諮問文を読み上げ、平山会長に手渡す。

3 総合計画の概要及び阿南市総合計画審議会の役割について (事務局)

阿南市総合計画審議会設置条例等により、総合計画の概要及び審議会の役割について説明を行う。

【審議】

質問なし

4 議事

議題1 計画の策定スケジュールについて

(事務局)

資料1「(仮称)第6次阿南市総合計画策定スケジュール」により、説明を行う。

【審議】

質問なし

議題2 基礎調査結果について

(事務局)

資料5「阿南市総合計画基礎調査報告書」により、基礎調査結果の説明を行う。

【審議】

(会長)

よく分析されているが、資料が膨大である。現状分析から課題抽出して、まちづくりの方向性を考えるということではないか。

(A 委員)

条例第6条の規定で、審議会では必要な資料の提出をできるとあるが、2点提案する。

①徳島県内の人口動態を議論する際、阿南市と類似する市や県外の類似の市と比較をしている。しかし、徳島県の人口を議論する際は、板野郡の事例がよく出る。できたら板野郡の年齢3区分別人口の推移に関する資料を提供してほしい。

②阿南市は製造品出荷額が3千5百億円で、工業のまちといえる。近代の発展も目覚ましく100億円ずつ増えているが、製造業の就業人口はさほど伸びていない。実態が見えにくい。徳島県の統計に、「従業員4人以上の製造業の推移」があったと思うので、それを資料として用意してほしい。

(事務局)

次回の審議会までに用意する。

(B 委員)

選択式のアンケートについては網羅しているが、自由意見もあったかと思う。基礎調査報告書の150ページからの部分で、産業の部分が83件あった。高校生のアンケートは、62件である。産業に関して、ショッピングモールを誘致してほしいという意見もあるが、この部分(自由意見)がパブリックコメントに載ってこないかと思うので、掲載を検討してほしい。

(事務局)

パブリックコメントにおいてその資料を公表するという理解でよろしいか。

(B 委員)

自由記述の意見の部分が反映されているのかという意味である。自由記述の掲載が可能であれば、お願いしたい。

(会長)

パブリックコメントはどのように公表されるのか。

(事務局)

パブリックコメントでは、基礎調査報告書のほか、概要版も一緒に公開する。

基礎調査の結果を踏まえて、基本構想の意見をいただくこととしている。

(会長)

自由意見も記載することで、市民の意見も反映できるのではないかと、検討していただきたい。

(C 委員)

概要版の2ページ、農業と漁業の年度(データ)が古いように思う。今は、数字がさらに厳しくなっているのではないかと。新しいデータが欲しい。

(事務局)

漁業センサスは平成30年(2018年)に、農林業センサスは令和2年(2020年)に実施しているが、国から結果が公表されていない。

(会長)

結果はいつ出るのか。

(事務局)

国から情報提供がないため、分からないが、結果が報告され次第、審議会に示すことさせていただきます。

(D 委員)

基礎調査報告書は、非常に良く分析されているが、アンケート調査の結果やワークショップはどのように実施されたのか。資料5の3ページにあるアンケート調査の結果について、ワークショップの提案が30人、6班で編成したが、どういった世代の方が入って分析されたのか。

(事務局)

ワークショップ参加者30人の内訳は、一般の参加者が13人、市内在学の高校生が17人となっている。なお、企画運営は、市が連携している大阪大学大学院の協力を得て、フューチャーデザインという手法を用いて行った。

(D 委員)

私たちは責任世代だが、次の人の世代の意見を聞いてみたい。若者の意見を聞く場や意見交換の機会を取り入れていただきたい。

これからの阿南市のまちづくりに、若者の意見が反映したというようにしたい。若い世代が愛する心を持ってもらいたい。審議会に部会を設けるなど、若者世代の意見を取り入れたい。

(会長)

今後の検討としてよいか。30人の意見では少ない。

(D 委員)

確かに母数が少ない。

(事務局)

審議会に部会を設けることは、条例改正が必要なため、すぐには難しいため、次年度以降の検討課題とさせていただきたい。

なお、今年度から出前市長を始めているので、その制度を活用していただくのはどうか。

(D 委員)

出前市長は、市民から手を挙げる手法であるため、行政からの場づくりをしてほしい。

(会長)

コロナの影響が無くなれば、阿南高専にも市長を呼びたい。

(E 委員)

資料に関して、特に意義はないが、総合計画ができたときのお願いをしておきたい。

他県でも総合計画を策定しているが、子どもの教育が一番大事でないか考える。

子ども向けの漫画版やダイジェスト版も作成し、阿南市の将来がどういうふうになるのかを考える。10歳の子どもが20歳になったとき、未来を考えられるような教育教材としての活用を検討してほしい。

(F 委員)

総合計画のダイジェスト版については賛成である。

なお、教育現場では、「私たちの阿南市」という本を出している。子どもが読みやすい。

暮らしが展望できる本である。

(事務局)

即答はできないが、検討させていただく。

議題3 基本構想の骨子案について

(事務局)

資料4「基本構想(骨子案)」、資料6「まちづくり構想の検討資料」により、基本構想骨子案の説明を行う。

【審議】

(会長)

パブリックコメントをいただくにあたり、「広報あなん」に周知の記事が掲載されているが、パブリックコメントに答えたいと思えるよう、広報の仕方も工夫していただきたい。

(事務局)

そのようなものにしたい。

審議終了

(会長)

事務局から事務連絡をお願いする。

(事務局)

- ・基本構想骨子案について後日、改めて各委員の意見をお伺いしたい。
- ・次回の審議会は、7月の中旬の開催を予定している。

閉会

15:20 終了